

# ガザ死者2万人に迫る

イスラエル大統領

「休戦の用意ある」

【エルサレム＝共同】イスラエルのヘルツォグ大統領は19日、イスラム組織ハマスが拘束する人質の奪還に向け、パレスチナ自治区ガザでの戦闘を再び休止す

る用意があると各国駐在大使らとの会合で語った。米ニュースサイト、アクシオスはイスラエル当局者の話として、イスラエルが仲介役カタルを通じ、女性や高齢男性ら約40人の人質解放と交換で1週間の戦闘休止を提案したと報道。ただ

ロイター通信は、交渉成立は近くないと関係筋が語ったと伝えた。

ガザ全域で攻撃を続けるイスラエル軍は20日、過去1日で300カ所以上の標的を破壊したと発表した。南部ハンユニスに部隊を追加投入し、地上侵攻を強

化。累計約1500カ所のハマスのトンネルや立て坑を発見し、ハマスの軍事指導部が潜伏するとみる地下でも作戦を続けている。ガザ保健当局によると、戦闘によるガザ側の死者は計1万9667人に上る。

ハマスによると、最高指導者ハニヤ氏は20日、カタルと共に仲介役を務めるエジプトを訪れた。米中央情報局(CIA)とイスラエルの対外特務機関モサド

の両長官は18日、カタル政府幹部を含めて新たな交渉の可能性をポーランドで協議したと伝えられている。

一方、国連安全保障理事会は19日、ガザでの「敵対行為の停止」を各当事者に求める決議案の採決を19日から20日(日本時間21日)に再延期することを決めた。決議案の文言に関する交渉が難航しているという。